

「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.20 2013年7月14日

「いっぽいっぽ山田」訪問記

水沢聖書バプテスト教会 若井 和生



水沢から遠野、釜石を経由して山田まで約125キロです。7月1日、私はOMFによって築かれた交流プラザ「いっぽいっぽ山田」への訪問を遂に果たしました。

到着したのは正午過ぎ。到着後から「いっぽいっぽ山田」のスタッフ本間英隆・早苗夫妻の歓待を受けました。丁度、札幌希望の丘キリスト教会から四名の方々が到着されたばかりの時で、一緒にお昼をご馳走になりました。その後、スタッフでシンガポール人のラウ・モーケンさんと小原啓美さんも加えられ、交わりの輪が広がられました。

先日、働きを終えてアメリカに帰国されたマギンティ先生ご夫妻を始めとし、スタッフの皆さんはみな、北海道から駆けつけた方々ばかりです。震災直後から北海道の教会の方々には助けられてきましたが、いまだにそれが継続されていることを実感し、感謝を新たにしました。

この地域を代表する先人と言えば、何と行っても鞭牛和尚（べんぎゅうおしょう）でしょう。江戸時代に、村と村を結ぶ道や、内陸に続く道を切り開くために大変な努力をされました。73歳で亡くなるまで手がけた道は約400キロに及ぶと言われます。

飢餓や津波被害に苦しむこの地域を孤立さ

せないために外の世界とのつながりが欠かせないとの理解が、鞭牛和尚にはあったのではないのでしょうか。この理解は震災後の宣教を考える上でとても大切な理解ではないかと思います。外の世界とのつながりと支援によって、この働きが支えられてきたことに、我々は心から感謝し、この事実を永遠の記録として書き留めなければなりません。

本間さん夫妻からは今までの感謝や苦労話、現在の働きや人々の様子、今後の課題についてうかがいました。「いっぽいっぽ山田」が地域の人々の憩いの場として用いられていること、子どもたちが学校帰りに立ち寄ったり、朝一杯のコーヒーを飲みに来られる常連客が多いこと、中には深刻な悩みを打ち明けて下さる方がおられることを伺いました。またこのベースを中心として、機会あるごとに仮設住宅や現地の人々への訪問がなされている様子も伺いました。

課題はこれからのこと。スタッフの皆さんは今年から来年にかけて順次、この地を去られる予定なので、働き人が継続的に備えられる必要があります。またOMFとしての働きも来年の5月までなので、その後の引継ぎ体制を整えなければなりません。

山田は内陸とつながる道が限られ、みちのくのさらなる道の奥です。この地域に対する宣教の働きも今まで後回しにされてしまいました。明治時代にハリストス正教会がこの地で宣教をした以来、プロテスタント諸派による組織的・本格的な宣教は今までなされてきませんでした。

その地における主の働きが今始まっていること自体が画期的・歴史的で、この山田で始められた「いっぽいっぽ」の働きが、今後「ずっとずっと」の働きとなることを祈りつつ、この地を後にしました。



リーダーズ・フォーラムを開催

6月3～4日、盛岡グランドホテルを会場に、リーダーズ・フォーラムが開催されました。震災後2年間、岩手各地でなされてきた支援と宣教の働きを振り返り、現状を確認し、今後の展望を神学的に考察するための機会です。そのために聖書宣教会から津村俊夫先生、東京聖書学院から錦織寛先生をお迎えしました。

津村先生からはカナンの宗教世界について教えられ、その中で語られた預言者ホセアやアモスのメッセージにともに耳を傾けました。錦織先生からは宣教が祈りにおける戦いであることを、みことばを通して教えられました。東北における宣教の戦いは、旧約時代の戦いに通じていることを教えられ、一同、みことばによって大いに励まされました。

その後、宣教の様々なテーマについて話し合いましたが、その内容は支援と宣教の関係、宣教協力のあり方、被災地における教会形成、異教世界との関わり、放射能問題、スタッフとその家族のケア等、多種に及びます。今後につながるよきアイディアも分かち合われました。このようなフォーラムを今後とも継続し、みことばと祈りを基盤とした宣教を、今後とも目指していきたいと思っています。

マートン選手のお米プロジェクトが始動

プロ野球・阪神タイガースのマット・マートン選手はクリスチャンの野球選手として有名です。震災後も野球教室の開催などを通して被災地の支援に関して下さいました。6月15日、マートン選手はプロ野球交流戦の合間をぬって、岩手を訪問。タイガースが勝つ度に、お米 50 キロを 3.11 いわて教会ネットワークを通して、被災地の方々に寄付して下さいることになりました。この「希望のお米プロジェクト」がよいよ始動します。がんばれ、今年のタイガース！

5～6月に支援活動に従事して下さいました諸団体、諸教会

同盟基督教団、合同教会、カベナントチーム、ユニオンチャーチ、長野チーム、IBF、チャペル・オブ・アドレーション、前橋キリスト教会、シンガポールチーム、JECA 西日本、こひつじキリスト教会、宮古コミュニティ・チャーチ、盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みなみ教会、北上聖書バプテスト教会、水沢聖書バプテスト教会
(その他、個人としてチームに合流し、支援活動にあたって下さった方々が多くおられます。)

一つ一つのご奉仕、ご支援に、心から感謝致します。